

## 教育にアートがもたらすもの

校長 高橋 実

かつて、科学、数学領域に重点をおいた<sup>システム</sup>STEM教育という米国の教育モデルの重要性が語られていました。しかし、最近の教育界では、日本を含めた世界的な教育の潮流として、<sup>STEAM</sup>STEAM教育に力を入れようとしています。S (Science 科学)、T (Technology 技術)、E (Engineering 工学)、M (Mathematics 数学) に、A (Art 芸術) を加えて、その頭文字をとったものです。なぜ今アートが必要なのでしょう。筑波大学准教授で「現代の魔法使い」の異名をもつ落合陽一氏は著書の中でこう語っています。「アートを学ぶことで審美眼の多様さや普遍性、文脈への接続性、そして物事の複雑性を理解できるからです。〈中略〉巨大で複雑なシステムの中からイノベーションを起こすには、観察力を養い、今あるシステムや常識を疑い、それを超えるための自分の文脈の構築や審美眼を備えた深い思考が必要になります。それが“アートの要素”なのです。」※1 目まぐるしく変わっていくこれからの時代を生きていくには、既存の枠にとらわれず新しく創造していく力が求められます。そのためにもアートのもつ感覚的・直観的思考を高めていくことが大切だそうです。

横浜市では、すべての小学校を対象に「心の教育 ふれあいコンサート」を実施しています。横浜市中の小学5年生を横浜みなとみらいホールに招き、神奈川フィルハーモニー管弦楽団による生の演奏を鑑賞します。もう20年間近く行われています。ある校長先生からこんな話を聞きました。1曲目が終わった時に隣に座っていた児童が「なんだかわからないけれど、涙が出てきたの」と小声で話しかけてきたそうです。初めて聴く生の大編成オーケストラの響きに感動し、うれしいとか悲しいとかの感情とはまた違った涙を流したようでした。横浜みなとみらいホールの方にその話をしたところ「音楽は一瞬で子どもを変えるのですね。子どもには本物の良いものに出会わせることが大切ですね。」と話されました。

新田小学校でも2月22日に、世界的なジャンベ奏者の岩原大輔氏※2と一期ジャムの方々においでいただき、コンサートとワークショップを行います。新田小学校の子どもたちに、本物に出会わせたい、本物から何かを感じ取ってほしいと思い、岩原大輔氏にお願いしたところ快く引き受けてくださいました。どんなコンサート＆ワークショップになるのか、そして新田小学校の子どもたちがどんな反応を見せるのか、今からとても楽しみです。

音楽、美術、その他様々なアートがあります。学校だけでなく日常生活の中でも様々なアートに出会い、五感を十分に使ってそれらを感じてほしいと思います。そして新田小学校の子どもたちが、豊かな感性をもった人に育ててほしいと願っています。

※1 『0才から100才まで学び続けなくてはならない時代を生きる学ぶ人と育てる人のための教科書』小学館

※2 ジャンベは西アフリカ起源の太鼓で岩原大輔氏はジャンベ奏者の第1人者ママディ・ケイタ氏の弟子